

令和8年度 調布市立深大寺小学校 学校経営計画（学校長 箱崎 高之）

学校の教育目標	
◎やさしく 思いやりのある子 ○よく考え すすんで学ぶ子 ○健康で 明るい子	
目指す学校像(ビジョン)	
<p>目指す学校像 【支え合う仲間とつくる「ごきげんな学校」】</p> <p>(1) 児童にとって 「喜びのある毎日が送れる安全で安心な学校」</p> <p>【日々】 ・友達と関わることのできる喜び ・学んで分かる喜び ・心を解放して体を動かす喜び</p> <p>【長い目で】 ・自分の存在が認められる喜び ・自分の成長が実感できる喜び ・自分の将来に希望がもてる喜び</p> <p>(2) 保護者、地域にとって 「誇りに思える私たちの学校」</p> <p>・よく見える学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く、丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→連携、協働の取組 (来校機会確保、学校HP、すぐーの活用) (子どもの成長を願って共に悩み、喜び) (コミュニティ・スクール、地域とともにある学校づくり)</p> <p>(3) 教職員にとって「子どもの成長を喜び合える学校」</p> <p>・風通しのよい明るい学校 ・やりたいことができる学校 ・成長できる学校 (挨拶、コミュニケーション 組織を生かした取組) (できない、やらない理由を作らずにチャレンジ) (学び、成長する機会の確保 職に誇りと責任を)</p>	
<p>ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)</p>	<p>○魅力ある学校づくりアンケートの結果は、「学校が楽しい」71%、「授業に主体的に取り組んでいる」64%、「授業がよく分かる」62%である。与えられたことには取り組むが、主体的に取り組むことや、自分の意見を表現すること、自らすすんで行動することに課題がある。児童が自分のよさを自覚し、自分のよさを生かすことができるよう、環境を整え、活力に満ちた学校にすることが課題である。</p> <p>○不登校及び不登校傾向のある児童、発達に課題がある児童が一定数いる。家庭、校内通級教室、SC、SSW、関係機関と連携した組織的な対応を進めること、また、コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」づくりの体制を整えることが課題である。</p> <p>○教科担任制、学年担任制を生かし、校内研究やOJTを通して、教員の指導力を向上させること。</p>
中期的な経営目標	
<p>1誰とでも仲良く協力し、親切にできる子どもの育成 2生涯にわたって学び続けることができる子どもの育成 3心や身体を大切に して、積極的に行動する子どもの育成 4学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり 5美しい環境の学校づくり 人・組 授業力の向上 校務分掌の活性化 服務規律の徹底 ライフ・ワークバランスの推進</p>	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①安全で安心な学校生活を送るために学年担任制を生かして、子どもの良さを多面的・多角的に見取り、自己肯定感を育む。	①公開授業を年間54回行い、「学び合い」を取り入れた授業を行うことで、子どもを主語にした学習を推進する。	①挨拶を核とした深大寺小学校の合言葉「さしすせそ」の指導を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。
②人の尊厳を重んじ「感謝の心」を育む協働的な学びを取り入れた教育活動を行う。	②一人1台モバイル端末を活用して、「子どもにとって分かりやすい授業」を実践する。	②運動量を確保した体育の授業とChofuDD、ちょこブラ1を通して体力の向上を図る。
③道徳科では、ローテーション授業を取り入れ授業改善を行う。特活では、児童が自ら考え、選択し、合意形成する機会を意図的に設ける。	③個々の特性等に応じた特別支援教育を推進する。多様な学びの場として校内教育支援センターを週に1回開設する。	③栄養士と連携した食育指導、養護教諭による保健指導を通して、心身の健康の保持増進に関する意識を高める。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①市・魅力ある学校づくり調査「学校が楽しい」75%以上	①市・魅力ある学校づくり調査「授業に主体的に取り組んでいる」65%以上	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」A評価35%以上
②市・魅力ある学校づくり調査「みんなで何かをするのは楽しい」85%以上	②市・魅力ある学校づくり調査「授業がよく分かる」65%以上	②都・体力調査「体力合計点」東京都平均以上を達成した学年(男女別)50%以上
③保護者アンケート「優しく思いやりのある子どもの育成に努めている」A評価45%以上	③「人的支援による対応」等が必要な児童に対する連携型個別指導計画の作成率100%	③都・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上、「毎日8時間以上寝ている児童」65%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり	
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	
①保護者の来校機会を毎月確保する。HPを年間160回以上更新する。	①児童を「さん」付けて呼ぶなど、丁寧に正しい言葉を使い言語環境を整える。	
②学校運営協議会で熟議を重ね、地域とともにある学校づくりを進める。	②靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。	
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	
①保護者アンケート「家庭で学校の出来事が話題になる」A評価55%以上	①保護者アンケート「教育環境の整備に努めている」A評価40%以上	
②保護者アンケート「地域・保護者と協力した教育活動」A評価60%以上	②靴箱の靴がそろっている学級、清掃が行き届いた学級60%以上	

人材育成・組織運営
<p>○授業力の向上</p> <p>・校内研究会の充実 ・校内授業公開54回実施による学び合いの機会確保 ・教科担任制を生かしたOJTの推進</p> <p>○校務分掌等の活性化</p> <p>・主幹教諭を核とした組織運営の推進 ・経営会議や企画会議、起案文書を通して職の立場と役割を明確にし、意識を向上させる。</p> <p>○服務規律の徹底</p> <p>・定期的な研修と校長講話により、教育公務員としての自覚と人権意識を高めるとともに職場環境の向上を図る。</p> <p>○ワーク・ライフバランスの推進</p> <p>・会議を精選するとともに校務支援システムを活用し業務を効率化させることで、全教員の1か月の時間外勤務45時間以内を目指す。</p>